

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

ご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。2年生以上の児童からのアンケート及び保護者の皆様からのアンケート結果をお知らせします。学校運営協議会のご意見を含めた詳しい内容については、後日、学校ホームページに掲載予定です。

【アンケート実施数】

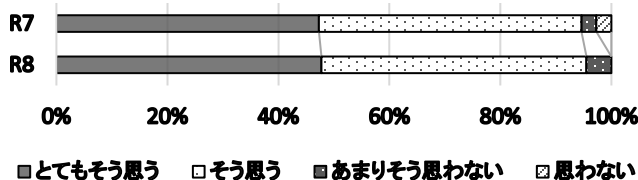
保護者（児童数） 回収率 51%

（学年別：1年生66% 2年生60% 3年生51% 4年生43% 5年生44% 6年生42%）

実施児童数（2～6年生） 283名

【児童アンケート】

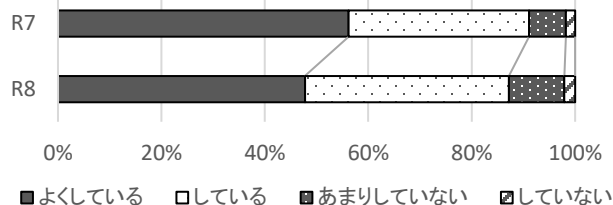
1 分かる授業の展開



1 分かる授業の展開

昨年度と比較すると、肯定的回答は96.1%で、昨年度の93.6%より増加した。「思わない」は0人となり改善が見られる。一方、「あまりそう思わない」は9人から14人に増えており、学習の理解に不安を感じる児童も一定数いる。学年別ではどの学年も肯定的回答が高く、特に5年生が高い。引き続き、ICT活用や個に応じた支援を進める。一人一台のICT端末を活用した学習を取り入れ、視覚的にも個別にも対応できるようにする必要がある。また、教員も引き続き授業改善を行い、研究の主軸となる「話し合い」を入れていく。さらに、児童の実態を把握し、少人数指導やサポート教室なども含め、「分かる」経験を増やす。

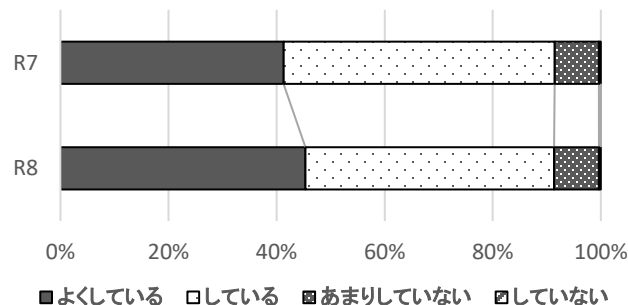
2 あいさつをする



2 あいさつをする

昨年度と比較すると、肯定的回答は87.2%で、昨年度の91.1%より減少した。「よくしている」は減り、「あまりしていない」「していない」は増加している。学年別では6年生の意識は高いが、3・4年生で課題が見られる。校内だけでなく、家庭・地域でも自分からあいさつする意識を育てていく必要がある。朝、教員が靴箱の見守りであいさつをしても、なかなか大きな声で返せない児童もいるが、会釈などの別の方法で人とのつながりをもとめていると感じる。教員以外の校内の職員や地域の方にすすんであいさつをしていけるよう、学校では実践を積み重ねていく指導を行う。

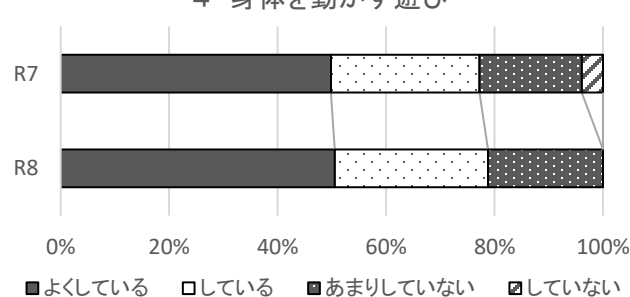
3 八小のきまりを守った生活



3 きまりを守った生活

昨年度と比較すると、肯定的回答は91.3%で、昨年度の91.5%とほぼ同程度である。「よく守っている」は増加したが、「守っている」はやや減少し、「あまり守っていない」は微増している。学年別では2・3年生で高く、5・6年生で課題が見られる。きまりの意味を理解させながら継続的に指導する。月1回の安全指導の中にも、八小のきまりを定期的に確認させる内容があり、日頃の生活指導の充実とともに、計画的に指導をしていく。

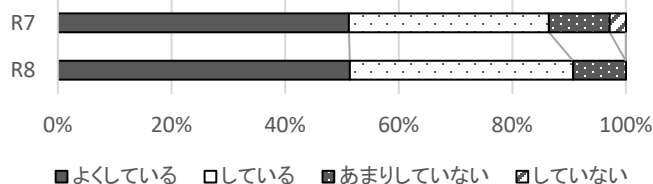
4 身体を動かす遊び



4 身体を動かす遊び

昨年度と比較すると、肯定的回答は78.8%で、昨年度の77.2%よりやや増加した。「取り組まない」は0人となったが、「あまり取り組んでいない」と答えた児童も増えている。学年別では低学年ほど肯定的で、高学年になるほど消極的な傾向が見られる。休み時間や行事等を通して運動に親しむ機会を増やしたい。学級遊びや運動委員会による「遊びの広場」への参加を通して、全校で身体を動かす遊びを促していく。

5 地域学習

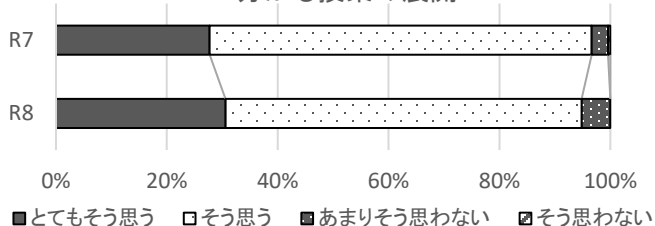


5 地域学習の満足度

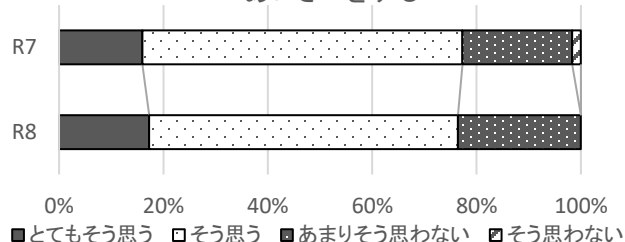
昨年度と比較すると、肯定的回答は 90.7%で、昨年度の 86.5%より増加した。「思わない」は0人となり改善が見られる。学年別では2・3年生で高く、4～6年生でやや低下傾向がある。地域教材や地域人材を生かし、学年に応じた探究的な学習をさらに充実させる必要がある。年間計画を基に、地域人材・地域教材を生かしていく。

【保護者アンケート】

1 分かる授業の展開



2 あいさつをする



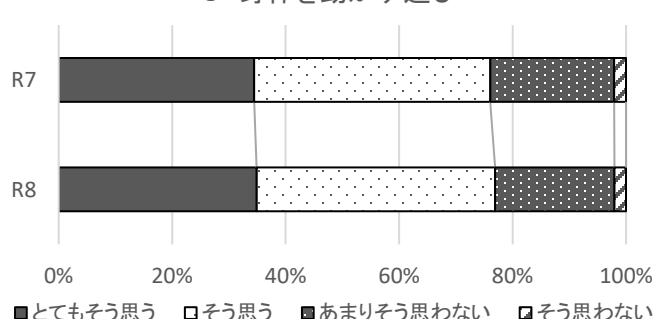
1 分かる授業の展開

昨年度と比較すると、肯定的回答は 94.8%で高い水準を維持している。「そう思わない」は0となったが、「あまりそう思わない」が増加した。学年別では全学年で肯定的回答が多い一方、「あまりそう思わない」がやや多いと答える学年もあった。引き続き、児童にとって分かりやすい授業づくりを進める。また、視覚的に分かりやすくなる教材の提示などにICTを活用した授業や、一人一台端末のICT機器を利用し、一人一人ができたと思える授業を展開していく。

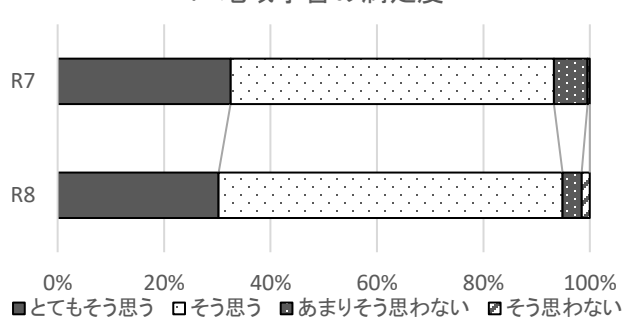
2 あいさつをする

昨年度と比較すると、肯定的回答は 76.4%で、昨年度の 77.3%とほぼ同程度である。「そう思わない」は減ったが、「あまりそう思わない」は一定数見られる。特に1・2・5年生で課題が見られる。本校の児童は、校内ではあいさつが概ねできているが、家庭・地域ではまだ課題が残っている。そのため、学校・家庭・地域が連携し、場に応じたあいさつの習慣化を図る必要がある。

3 身体を動かす遊び



4 地域学習の満足度



3 身体を動かす遊び

昨年度と比較すると、肯定的回答は 76.9%で、昨年度の 76.1%とほぼ同程度である。「あまり取り組まない」は減少したが、「取り組まない」はやや増加している。学年別では高学年に消極的な傾向が見られる。高学年は、学校でも委員会活動やクラブ活動で、休み時間に外遊びをする時間が取れないことや、習い事や家庭での様々な役割により、体を動かす機会が減ることが考えられる。日常的に体を動かす習慣づくりを継続して進めるためにも、学校では体育の学習の中で休み時間の遊びにつながる内容を紹介したり、遊具などが魅力的になるよう工夫をしたりしていく。

4 地域学習の満足度

昨年度と比較すると、肯定的回答は 94.9%で、昨年度の 93.2%より増加した。「あまり満足していない」は減少したが、「満足していない」はわずかに増加している。全体として評価は高く、学校の情報発信や地域学習の充実が成果として表れている。学校ブログ等の活用だけでなく、コミュニティースクールとして地域の方、保護者が学校に来る機会が増え、交流をすることも地域学習の満足度につながっていると考えられる。今後も学習内容の発信を続けていく。